# 茅ヶ崎市議会議員　無所属・１期目

# 木山こうじ

子どもに
ツケを
まわさない!

## 活動報告　2019年度（令和元年度）総集編

茅ヶ崎市民の皆様こんにちは、木山こうじです。昨年の４月に行われた茅ヶ崎市議会議員選挙において市民の皆様からご負託をいただき、茅ヶ崎市議会議員としてスタートさせていただいてから1年が経ちました。茅ヶ崎市民の皆様に令和元（2019）年度、1年間の活動をご報告させていただきます。

先日３月24日（火）におきまして、令和２年第１回茅ヶ崎市議会定例会が終了し、令和２年度予算の審査も無事議会を通過いたしました。令和２年度は、市の設計図とも言える「総合計画」の最終年度であり、実施計画に位置付けられた事業を確実に執行していくことに主眼をおいた1年になると思われます。

近年少子高齢化に伴う人口減少問題が日本全国において懸念されておりますが、都心へのアクセスが良好なベッドタウンとして発展してきた本市も例外ではなく、人口減少により市税収入が減少することによる市民サービスの低下が懸念されております。

さらに逼迫する本市の財政状況の中で、新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックの影響で世界経済が停滞し、市内経済にも多大な影響を及ぼしております。

そんな先行きが不透明な中でも、年々増え続ける社会保障費や老朽化が進む公共施設への対応、昨年日本地で猛威を振るった台風第15号・19号のように年々激甚化する風水害、今後30年の間に70％の確率で発生すると言われている首都直下型地震など、未曾有の大災害を想定した準備をしなくてはならないなど問題は山積しております。

様々なリスクに対応しながらも市民サービスを低下させず、持続可能な行政運営を実現するためにはまず新型コロナウイルスに打ち勝ち、市内経済を立て直す必要があります。

新型コロナウイルスによるこの未曾有の国難に対して、茅ヶ崎の行政・議会・市民一丸となって立ち向かっていきましょう。

**国・県・市による支援策や補償内容などの情報は随時SNS等で発信しておりますのでフォローお願いします。**

### ご報告

SNSではすでに市民の皆様へご報告させていただきましたが、令和２年５月１日付で青木浩議員が代表の会派「絆ちがさき」さんと合流し、新会派名「絆・新しい風」となりました。

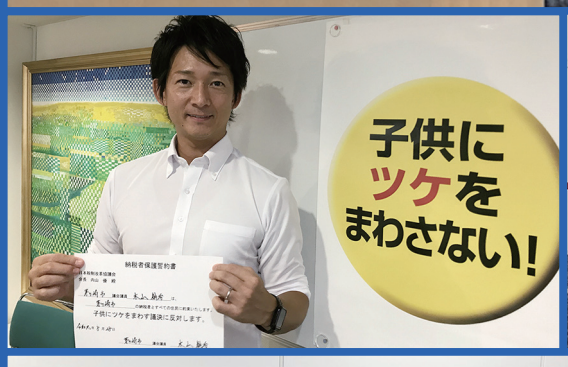
私、木山こうじは無所属・無会派として１年間活動してまいりましたが、３人以上の交渉会派制をとる茅ヶ崎市議会において、１人会派として「大きな壁」を感じた1年となりました。市民から預かった大事な税金をどう使うか、どう使われたのかをチェックする「予算・決算」の審査や、議会をどのように効率良く運営していくかなどを決める「議会運営委員会」にも入れないなど、市民の負託を受けているにもかかわらず、１人会派では発言できない場が多いという現実を痛感いたしました。それに加えて茅ヶ崎市議会として立ち上げた「新型コロナウイルス対策会議」においても交渉会派制が採用されております。市民の声をスピーディーに伝えるためには、交渉会派として声を上げる必要がありました。

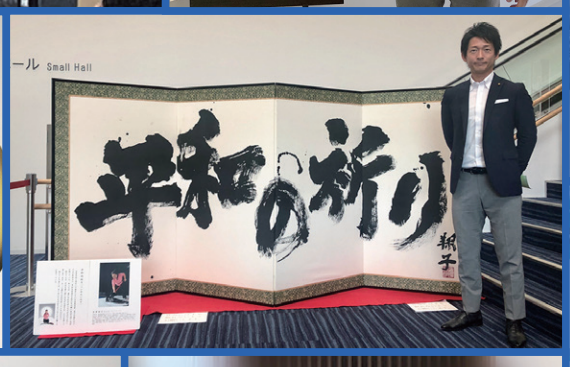
この度「絆・新しい風」として再スタートすることになりましたが、今後は会派としてのメリットを最大限に活かしてあくまで無所属として行政を厳しくチェックしていきたいと思っております。特定の党に傾倒することなくあくまで【共闘】という形で「絆ちがさき」ではなく、僕の会派名である「新しい風」を残す形にしていただきました。

これまでと変わらず【無所属】としてしがらみのない政治を目指し邁進して参りたいと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。

### 市内コミュニティセンターにおいて授乳スペースの対応が可能となりました

乳幼児を連れた方々のニーズにお応えするために執行部に要望した結果、スペースの確保が難しい南湖地区、海岸地区のコミュニティセンターを除き、市内のコミュニティセンターにおいて授乳スペースの対応が可能になりました。ご希望の方は各地区コミュニティセンター職員までお申し付けください。



### 議会において再三質問しておりました、「茅ヶ崎市LINE公式アカウント」がついに始動しました！

平常時には観光やイベント情報を中心に発信し、災害発生時には災害情報に特化した運用となります。近年激甚化する自然災害においては、リアルタイムに災害情報を得ることが非常に重要となります。また下部メニューから市HPの新型コロナウイルス等のページにすぐ飛べるようになっておりますので、友だち登録して是非ご活用ください。

LINE ID：
@chigasakicity

### 木山こうじプロフィール

- ■ 1982年　神奈川県横浜市生まれ
- ■ 横浜国立大学教育学部附属横浜小学校 卒業
- ■ 神奈川県 桐蔭学園 中学校 卒業
- ■ 神奈川県 桐蔭学園 高等学校 卒業
- ■ 私立 関東学院大学 法学部 卒業
- ■高校在学時、テコンドーと出会い真剣に練習を開始。天性の運動神経の助けもあり、2001年WTF全日本学生テコンドー選手権大会フェザー級チャンピオンとなる。
- ■同年、関東学院大学学長賞を受賞。
- ■その後、北京オリンピック（2008年開催）に向けた練習を本格的に開始。遠征や合宿で国内のみならず海外にも度々渡り、経験を積む。
- ■2005年、北京オリンピック強化指定選手選考会フェザー級チャンピオンとなる。その功績が認められ、同年北京オリンピック強化指定選手に選出。
- ■その後、数々の試合を経て引退。
- ■引退後は、現役時代にお世話になった方の企業で社会生活を学ぶ。

# 一般質問　令和元年度　発言まとめ　討 論

## 令和元年 第２回茅ヶ崎市議会定例会

### １、マーケティング課の新設について

少子高齢化に伴う人口減少問題への対策のために戦略的にシティセールスを進めていく必要があると考える。子育て世代の人口増加を実現している千葉県流山市のような先進事例を踏まえ、「マーケティング課」の新設について問う。

### ２、子育て施策について

（１）産前産後ケアについて
育児疲れや産後うつによる幼児虐待や母親の自死を未然に防ぐために、誰でも在宅で支援が受けられる「産前産後ヘルパー制度」の導入について問う。
（２）子育て支援事業利用の簡略化について
既存の子育て支援事業の一環である「ファミリーサポートセンター事業」や「子育て短期支援事業」など登録や申込などの事務全般をペーパーレス化しネット上で完結できる仕組みの導入について問う。
（３）保育園における保育士の業務負担軽減について
保育士不足や保育士の業務負担軽減のため、手書きの作業や事務作業のICT化を進めるべきと考えるが、市の見解を問う。

### 議案第49号令和元年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第３号）総務費のまち・ひと・しごと創生総合戦略・子育て世代転入促進事業につ 賛成

マーケティングの観点から茅ヶ崎の魅力をより明確に具現化した上で都市間競争を意識した戦略的なプロモーションを求める。

### 議案第52号茅ヶ崎市子ども未来応援基金条例 賛成

世界第３位の経済大国でありながら、全国で7人に1人の子供、ひとり親世帯に関しては２人に1人の子供が貧困に陥っている状態である日本。本市においても、18歳未満の子供は約４万人いる。なかなか表面化しづらい貧困家庭の調査等も含め、支援を必要としている方々への運用を求める。

### 議案第60号茅ヶ崎市美術館条例の一部を改正する条例 賛成

65歳以上の来館者の観覧料を無料の状態から有料化するということは、心象が余りよいものではない。しかし受益者負担の原則の観点からやむを得ない事情は理解できるため、利用者への丁寧な対応、説明を求める。

## 令和元年 第３回茅ヶ崎市議会定例会

### １、スポーツを通じた施策について

（１）スポーツを核とした地域の振興について
平成27年10月にスポーツ庁が設置され、スポーツが国の重点政策として位置づけられたことを契機に日本各地でスポーツを通じた地域・経済の活性化やスポーツの産業化が進んでいるが、本市における見解を問う。
（２）オリンピック・レガシーについて
一生に一度あるかないかの自国開催でのオリンピック・パラリンピックによるレガシー（遺産）を本市としてどのように残していくのか見解を問う。

### ２、広告事業について

自主財源確保策として、広告事業の一つ「ネーミングライツ（命名権）」を様々な市有財産に積極的に活用すべきと考えるが、市の見解を問う。

### 3、LINE公式アカウントを利用した情報発信について

LINE公式アカウントにより、市民が欲しい情報だけを受け取れる「セグメント配信」が可能となり、市民ニーズに合わせた情報発信が可能となるため、導入すべきと考えるが市の見解を問う。

### 議案第70号、令和元年度一般会計補正予算「民生費・幼稚園就園奨励費等補助金」および「施設等利用費」について 賛成

市内の幼稚園類似施設に通う子どもたちおよびその世帯へ茅ヶ崎市独自の支援を、消費増税後も同様に継続して行っていくという市の姿勢は大変評価するが、財政状況が理由で幼稚園類似施設内の子どもたちに経済格差や、藤沢市との地域差が生じてしまうことは、避けなければならない。
市が定める「総合計画」にあるように、安心して子どもを育てることを支援し、社会全体で子育てを支援する仕組みを構築するという本市の方針に沿い、未来を担う子どもたちに寄り添っていただくことを期待する。

### 議案第70号及び第73号、令和元年度茅ヶ崎市病院事業会計補正予算について 賛成

地域医療支援病院、救急指定病院、災害拠点病院など多くの役割を担う「市立病院」へ、一般会計から資することは、茅ヶ崎市民の命と健康を守るために必要なことと認識しております。また、地域の医療体制は市民の重大な関心ごとであるため、「公立病院の存在意義」をより明確にしながら、市民への説明責任を果たし十分な理解を得る必要があります。その上でリバイバル・ロードマップに則った抜本的な経営改革を進められることを求める。

## 令和元年 第４回茅ヶ崎市議会定例会

### １、LINE公式アカウントを活用した情報発信について

令和元年第３回茅ヶ崎市議会定例会で質問した「LINE公式アカウント」導入についてその後の進捗状況について問う。また災害時に市民が自分の命を守る行動に移るために必要な「正確な情報」を得るためにLINEは非常に有効であるため、災害に特化した運用で試験的に導入してはどうかと考えるが市の見解を問う。

### ２、財政運営について

平成30年度決算における財政指標の急激な悪化を踏まえると、義務的経費をはじめとした経常的経費の縮減が必要と考える。また今後どのように財源を確保していくのか。そして今現在、茅ヶ崎市の財政状況は市民へわかりやすく説明されているのか、市の見解を問う。

### 議案第96号、令和元年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第６号、「衛生費・地域医療推進事業費」について 反対

災害医療体制の機能強化を図る他、著しく老朽化が進む現保健所における業務の移設を目的とした地域医療センター等複合施設の講堂部分を購入するとのことだが、１億9,485万８千円のうち、75%にあたる1億4,610万円を20年償還の地方債で充当することに関して、次世代への負担となり得る長期償還期間を要する起債はより慎重に審議する必要がある。また令和３年度末で県の支援が終了する保健所の運用についても、次期総合計画の策定前で今後の見通しが立っていない中で、今回の購入に踏み切るには時期尚早と考える。

## 令和２年 第１回茅ヶ崎市議会定例会

### 個人質疑

### １、財政健全化緊急対策について

短期間で集中して緊縮財政政策を行えば、相当の市民生活への影響が懸念されるが市の見解を問う。また市民との危機感の共有・理解を得るためには丁寧な説明が必要と考えるが今後の取り組みについて問う。

### ２、東京2020オリンピック・パラリンピックについて

北マケドニア共和国とホストタウンとして、スポーツ・文化・経済などを通じて交流を深めていくとあるが、大会期間中および大会終了後の取り組みについて市長の見解を問う。

### 3、風水害対策事業について

台風第19号を踏まえ、自助・共助・公助が連携した体制の強化を図るとあるが、台風第15号・19号で被災した他市町村の現状を踏まえた上での今後の対策について問う。

### 議案第５号、令和２年度茅ヶ崎市一般会計予算について 賛成

歳入歳出予算の総額は前年度比2.4%増の739億８千万円となり、財政調整基金の切り崩しが16億円にのぼるなど非常に厳しい予算編成となった。令和２年度においては第４次実施計画最終年度ということで計画に位置づけられた事業を効率的・効果的に実施するとともに、今後多様化する市民ニーズに的確に対応するための事業を次期総合計画および実施計画に位置づけ、茅ヶ崎市財政健全化緊急対策で示された方針・対策を具体的な目標値・確かなエビデンスに基づいた数値とともにアクションプランにおいて明確にし、財政健全化に向けた取り組みを進められることを求める。

**■ 総務費のうち「広報公聴費　広報活動事業費」について**

電子媒体・紙媒体を通して市の様々な情報を発信しておりますが、市のHPはweb上における「まちの顔」となるものであり、サイトの見やすさや情報の探しやすさだけでなく、トップページを見ただけでユーザーに対し本市の個性をPRできるような広報戦略も必要と考える。トップページに動画を流して本市の魅力やイメージをPRするなど、シティセールスに繋がるような取り組みを求める。

**■「企画費　まち・ひと・しごと創生総合戦略・子育て世代転入促進事業費」について**

本事業は子育て世代の転入促進のためのwebサイトの立ち上げやセミナーを開催し、本市の魅力をPRする事業であるが、対象者が茅ヶ崎に興味を持ってから転入に至るまでのプロセスの間にはいくつかの段階があり、興味を持たせてから転入に繋げるには、その段階に応じた情報提供であったり、相応のフォローアップが必要と考える。転入に至るまでのフェーズごとに必要なフォローアップをしていくことを求める。

**■「防災対策費」について**

令和元年に発生した台風19号を教訓に、避難所運営における要配慮者に対する支援について、市として統一的な認識を改めて確認されることを求める。またいざというときに適切な避難行動をとれるようマイタイムラインの作成を引き続き支援するとともに、ミルクやおむつ、授乳スペースやおむつ台などの支援が必要な乳幼児のいる家族でも安心して避難できるよう避難所の設備や備蓄品の情報など、市民にわかりやすい情報発信を求める。そして阪神淡路大震災や東日本大震災でも問題視された避難所における性犯罪の防止など、防犯に配慮した避難所運営に努めることを求める。

**■ 衛生費のうち「じんかい処理費　不法投棄防止事業費」について**

昼夜のパトロールや看板・監視カメラの設置等により不法投棄の件数は減少傾向にはあるが根本的な解決に至っていないのが現状である。ごみ有料化を迎える前に不法投棄根絶のための更なる対策の検討を求める。

**■ 商工費のうち観光費「DMO事業費」について**

観光協会が主体となって「観光マーケティング戦略」を進めていくDMO事業であるが、戦略策定、各種調査、マーケティング、商品の造成、プロモーション等を一体的に実施することこそがDMOであり、市のバックアップ体制、事業者との連携や庁内横断的な連携、など各機関との蜜な連携無くして本事業の成功はないと考える。必要に応じて担当を明確にするなどし適時情報共有をしながら、本事業を進めていくことを求める。

木山こうじ　検索
インスタグラム・FB・ツイッターで日々の活動を発信しています。お気軽にフォローお願いします！
https://www.instagram.com/kiyamakoji/
https://www.facebook.com/koji.kiyama.7
https://twitter.com/kiyamakoji
木山こうじと茅ヶ崎の未来を作る会
☎080-3004-5023
〒253-0006 茅ヶ崎市堤77-1 マリヴァノン1-203